

千葉大学医学部附属病院で手術された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年7月10日

感染制御部・感染症内科

感染制御部・感染症内科では、DPC データ*と病院医療情報システムを利用した手術部位感染症の同定に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2017年4月1日～本文書の公開日までに以下の17術式で手術された方
膵頭十二指腸切除、胆道再建を伴わない肝切除、その他の肝胆膵手術、大腸手術、直腸手術、心臓手術、胸部切開のみのバイパス、グラフト採取部位の切開を伴うバイパス、胸部手術、乳房手術、帝王切開、人工股関節、脊椎固定、開頭術、腎臓手術、ヘルニア手術と虫垂手術

*DPCとは「Diagnosis（診断）と Procedure（治療）の Combination（掛け合わせ）」という意味です。一定の基準を満たす大規模な病院を対象とした、急性期（すぐに治療が必要な状態）の患者の入院時の診療を包括的に評価する制度としてDPC制度が導入されました。「包括的」というのは、DPC制度ができる以前の出来高制（診療をすればするだけ発生する仕組みの報酬）ではなく、定額制の報酬制度を取り入れることを意味しています。

DPC算定をした結果として生まれるデータを「DPCデータ」と呼びます。

DPCデータには、患者さんの性別、生年月日、入退院日、病名、手術、処置、投薬、どのような検査を行ったか、入院した日数、どれくらい医療費がかかったか、などの情報があります。

1. 研究課題名

「DPCデータと病院医療情報システムを利用した手術部位感染症の同定に関する研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長

の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

手術部位感染症（SSI ; Surgical-site infections）の発生を把握することは、患者の安全の担保、医療の質を評価する上で重要なことです。このため厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）で、データが収集されています。しかし、JANIS に提出しなければならないデータ項目は多く、判定者によって SSI の判定が異なることも起こりうる状態です。

そこで SSI の判定に DPC データを活用することを考えました。DPC とは「Diagnosis（診断）と Procedure（治療）の Combination（掛け合わせ）」という意味で、病気や症状、診療行為により診療費を計算する方法です。一定の基準を満たす大規模な病院では、DPC 制度が導入されています。この DPC データには、「病名」や「関連する手術・処置、重症度、副傷病名の有無」「薬剤の使用」「細菌検査の実施の情報」等が含まれており、SSI の発症が確認出来る可能性が高いと考えます。

JANIS に提出しなければならない項目には DPC データからは得られない情報もあるため、電子カルテ等の病院医療情報システムをあわせて使って、手術後に起こりうる感染（SSI）を手術の種類ごとに特定することを主な目的としています。

また、医療データベース（DPC）と病院の情報システムから収集したデータを基に、手術後感染のリスクを自動的に評価・特定することが出来れば、感染監視システムの効率化が図れ、医療の質向上に寄与することが期待されます。

解析の一部は DPC データの取り扱い解析してくれるゴールドデnlルース株式会社に委託します。

4. 研究に用いる情報の種類

この研究では、患者さんの DPC データおよび、健康に関する様々な情報が収集・利用されます。具体的には、患者さんの年齢、性別、病気の種類、手術の日付と種類、使用された薬や検査結果などです。これに加えて、手術の詳細（手術の時間、手術の種類、手術時の患者の身体状態や緊急性、内視鏡の使用の有無など）や、細菌などの病原体に関する情報（病原体の種類、抗生物質に対する反応など）も収集されます。これらの情報は、手術後に起こりうる感染症をよりよく理解し、防ぐために使用されます。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：感染制御部・感染症内科 准教授 谷口俊文

研究の一部を委託する機関：株式会社ゴールデンルールス

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

(※研究成果の発表後以外に参加拒否の申し出に対応できないケースがあれば、その旨も記載してください) 情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥精司）

感染制御部・感染症内科 准教授 谷口俊文

043(222)7171